

# これからの食料生産 ～持続可能な食料生産の在り方～

日時：6月22日（木）第5校時

学年：第5学年 19名

糸崎小学校で育てようとする資質や能力及び態度

\* は今年度の重点項目

【知識】知識 情報

【スキル】①課題発見・解決能力 ②思考力・判断力・表現力 ③コミュニケーション能力

【意欲・態度】④主体性・積極性 ⑤回復力 ⑥協調性・柔軟性

【価値観・倫理観】⑦自らへの自信

## 1. 単元について この単元は

児童は

本単元は、小学校学習指導要領の社会第5学年の内容（2）「我が国の農業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。」を受けて設定している。

我が国の食料生産が抱える諸問題に対し、「持続可能な」食料生産の視点で考えていく中で、児童の課題発見・解決能力や主体性・積極性を高められるとともに、食料生産に関わる体験を通して、よりよい社会を形成しようとする公民的資質の素地や自らへの自信を養う事ができる単元であると考え。

## 指導の手立て

本単元の指導に当たっては、日本の食料生産が抱える様々な課題に自ら気づくために、地域のスーパーマーケットの写真や各種資料を効果的に活用する。授業の導入で既有知識とのズレから課題意識を強くもたせ、主体的に学習に取り組ませる。そして、単元を通して「持続可能な」農業を視点に考えさせることで、より良い社会に向けて課題を解決していくための力を育成していく。

また、多面的に考える力を育てるための手立てとして、ボーン図を活用する。自分の意見を裏付ける根拠として複数の資料から情報を集めさせ、ボーン図にまとめさせる事で、多面的に考える力を育成するとともに、意見交流で自信をもって発言するための手立てとしたい。

さらに、単元終末には自分達で育てた野菜を地産地消コーナーに販売する活動を通して、社会に参画しようとする公民的資質を養うとともに、やり遂げた自らへの自信を高めさせたい。

## 2 単元目標と評価規準

| 観点             | 目標                                                                                                   | 評価規準                                                                              |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 関心<br>意欲<br>態度 | ○我が国の主な食糧の輸入先や食料の自給率、食料輸入をめぐる問題から、我が国の食料生産について関心をもっている。                                              | 我が国の食料輸入や自給率をめぐる問題に関心をもって意欲的に調べ、食料確保に関わる重要な役割を果たしていることや、今後の食料生産について考えようとしている。     |
| 思考<br>判断<br>表現 | ○我が国の食料生産について、地図や地球儀、統計等の各種の基礎的資料を効果的に活用し、国民の食料を確保するために重要な役割を果たしていることについて考える力や、調べたことを表現する力を育てる事ができる。 | 我が国の食料に関わる諸問題について、課題を見出し、調べたことをもとに食料確保に関わる重要な役割を果たしていることや今後の食料生産について考え、適切に表現している。 |
| 観察<br>技能       | ○我が国の食料生産について、生産地と消費地を結ぶ運輸の働き、食料の中には輸入しているものがある事を取り上げ、それらが国民の食料確保において重要な役割を果たしていることを理解できる。           | 我が国の食料に関わる諸問題について、地図や統計等の基礎的資料を効果的に活用し、調べた過程や結果をまとめている。                           |
| 知識<br>理解       |                                                                                                      | 我が国の食料に関わる諸問題について、それらが国民の食料を確保する上で、重大な課題である事を理解している。                              |

### 3 本単元で育てる資質と評価規準

|           | 資質・能力・態度   | 評価規準                                                 |
|-----------|------------|------------------------------------------------------|
| 【知識】      | 知識         | 我が国の食料生産に関わる諸問題やその原因について理解している。                      |
| 【スキル】     | ①課題発見・解決能力 | 既習内容と本時の学習対象とのズレに気づいて課題を設定し、「持続可能な農業」を視点に解決方法を考えている。 |
| 【意欲・態度】   | ④主体性・積極性   | 我が国の食料生産に関わる課題に対して自分の考えをもち、解決のための方法を進んで考えている。        |
| 【価値観・倫理観】 | ⑦自らへの自信    | 地産地消コーナーでの販売計画とそれに向けた活動を通して、自己の活動を認めている。             |

### 4 指導計画とルーブリック（本時 4/5）

| 時 | 学習活動                                                   | ルーブリック                                              |                                    | 資質 | 思考ツール               |
|---|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------|----|---------------------|
|   |                                                        | S                                                   | A                                  |    |                     |
| 1 | 主な食料の輸入先と輸入量の割合の資料などから、我が国の食料生産や食料輸入に関心をもつ。            | 日本の食料自給率の低さを知り、これから調べていきたいことを複数考えている。               | 日本の食料自給率の低さを知り、課題意識をもっている。         | ①  |                     |
| 2 | 主な食料の自給率の移り変わりを調べることから、食料輸入が増えている理由を考える。               | 食料輸入が増えている理由を考え、それに伴う問題点について考えている。                  | 食料輸入が増えている理由を考えている。                | ④  | 多面的に考える<br>ボーン図     |
| 3 | 食料輸入に対する安全性や食料不足、環境などの問題を複数の資料から読み取る。                  | 食料輸入に関わる諸問題を読み取り、持続可能な食料生産に向けて大切な事を考えている。           | 食料輸入に関わる諸問題を資料から読み取っている。           | ①  | 多面的に考える<br>ボーン図     |
| 4 | 地産地消の意義について考えることを通して、これからの食料生産や消費のあり方について考える。          | 日本の食料生産にとって地産地消が有効であるか、持続可能な食料生産を視点に含め、多面的に考えている。   | 日本の食料生産にとって地産地消が有効であるかを多面的に考えている。  | ①  | 多面的に考える<br>ボーン図     |
| 5 | 持続可能な食料生産に向けた課題と解決策を考える。<br>(地産地消コーナーでの販売を計画する。)総合との関連 | これからの食料を安定的にまかなっていくための課題と解決策を考え、自分達にできる事についても考えている。 | これから食料を安定的にまかなっていくための課題と解決策を考えている。 | ⑦  | つなげて考える<br>コンセプトマップ |

複数の資料から必要な情報を読み取れない。  
既習内容や資料と地産地消を関連付けて考えられない。

振り返り場面

Aに到達できていない姿  
日本の食料生産にとつて、  
地産地消が有効であるか、  
一面的（新鮮さ等）にしか  
捉えられていない。

原因

目指す子どもの姿

S 日本の食料生産にとって地産地消が有効であるか、持続可能な食料生産を視点に含め、多面的に考えている。

A 日本の食料生産にとって地産地消が有効であるかを多面的に考えている。

本時のねらい  
日本の食料生産のために、地産地消が有効であるか考える事ができる。

キャリアのねらい  
★より良い社会にしていくなために、「持続可能な食料生産」を視点にもち、考えることができる。

見通しや実行方法を発想する  
場面

⑤資料を根拠に多面的に考える。

◆**留資料**から多面的に考えられるよう、**ボーン図**を活用する。

⑥意見を全体で交流する。

C採れたて野菜をその日のうちに販売できるので、新鮮さと安全安心なところが人気だと思います。

C 小さくても商品として売れ、消費者の食べられる物が増えて食材が無駄にならないからだと思います。

C地元野菜を食べ、地域の農業を盛り上げるためだと思います。

C 遠くから食材を運ぶとフード  
マイレージが高くなります。

これからの農業は環境を守りながらやっていかないとけないからだと思います。

C地産地消は食料の輸入問題の解決につながるからだと思います。

T 地産地消で将来の日本の食料生産を支えていけるかな。★  
C 一部の地域だけでなく、日本全体の生産量を高めるためにこの取組を全国に広げていく必要がある。

C地産地消だけでは賄えない。

⑦ 本時のまとめをする。

食料生産を高めるのに、地産地消も大切。しかし、それだけでは十分ではなく、輸入とのバランスをとる必要がある。

⑧ 本時の振り返りをする。

対象と既有的知識とを関連づけ、対象が生じる原因を類推

問題（課題）を見出す場面

①前時までの振り返りをする。

「食料の輸入が増えてきたのはなぜかな。」

C 外国産は安くて、どの時期でも食べられるからです。

「輸入の問題点は何かな。」

C 安全面、環境面、食料不足の面で問題点があります。

② 既習内容と本時の学習対象とのズレに気づく。

Tこれは地産地消コーナーの写真です。ここでは地元の野菜が売られ、お客さんからの評判も良く、今とても注目されているそうです。

C新鮮だから買うのかな。

C外国産よりも安いのかな。

C 何か他にも良さがあるのかな。

④ 既習とのズレから課題を設定し、課題意識を高める。

③ 学習課題を立てる。

なぜ、地産地消コーナーは注目されているのだろうか。

T地産地消コーナーが注目されている理由を、色々な視点で考えていきましょう。

C色々な視点で考えるなら、ボーン図を使います。

④ ルーブリックの設定をする。

T この時間の A と S を設定しま  
しょう。

◆学習意欲を高めるために、子ども達とともにルーブリックを設定する。

対象と既知の知識との「ズレ」を認識

思考スキル  
「多面的に考える」  
↓  
思考ツール  
「ボーン図」

